

福部未来学園 Smile プロジェクト

○班対抗フレンドリーレクリエーション

取り組みの概要

〈ねらい〉

- ・縦割り班で力を合わせて活動することで、異学年交流を深める。
(縦割り班は、赤(1・2班)・青(3・4班)・黄(5・6班)・緑(7・8班)の4つ班から構成されている。)
- ・班長、副班長などが、リーダーとしての自覚をもち、具体的な計画立案を行ったり、その活動をリードしたりする力を育てる。

〈内容〉

- ・班長(9年)、副班長(8年)、中等ブロックリーダー(5年)が、ねらい達成につながる種目を計画し(リーダー会)、このリーダーと9年生を中心に、準備・運営を行った。
- ・15分以内にできる種目を企画し、教室を移動しながら8種目に挑戦した。
- ・班で協力したり相手のことを考えて行動したりできるよう、得点で競うようにした。
- ・班の担当教員は、リーダーたちが計画した案について、分かりにくい所を質問したり助言したりした。



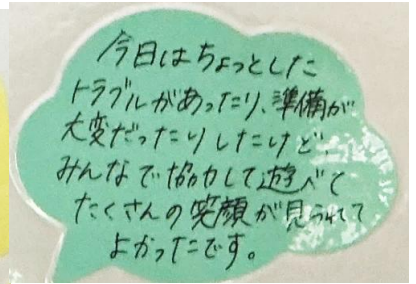
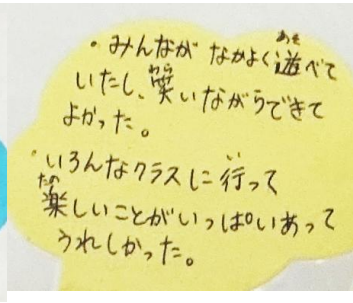
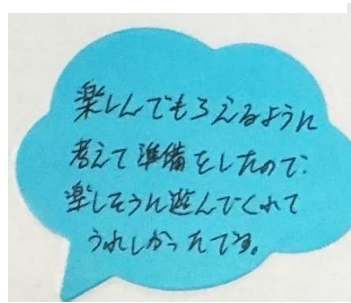
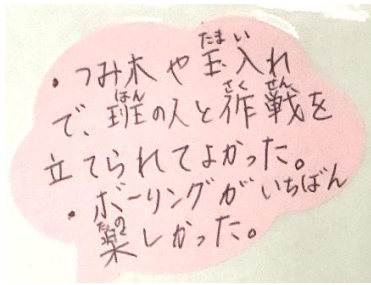
活動の様子



活動後、班ごとに感想を伝え合った。また、この感想や活動写真を玄関に掲示した。年間を通して、振り返りや活動の足跡を掲示することで学園生の達成感や自己有用感を高めたい。



学園生の感想



○中等ブロック（3年～5年生）クイズ大会

取り組みの概要

- ・5年生がリーダーとなり、縦割り班ごとに集まって学園に関するクイズに答えた。
- ・クイズの内容は、もっと学園のことを知って好きになってほしいという5年生の思いが込められていた。
- ・色団対抗で、得点が入るので、同じ色団で相談し合う姿が見られた。

学園生の感想

- ・みんなが楽しめるように、計画したりクイズを作ったりしてくれて、5年生すごいなと思いました。
- ・色団の人と相談しながらクイズを考えて協力できました。
- ・たくさんいろいろなクイズがあって楽しかったです。5年生、ありがとうございました。
- ・今度は、自分たちが、中等ブロックのみんなが楽しめることをやってみたいです。



○初等ブロック（さくら組～2年）じゃんけん列車

取り組みの概要

- ・夏休み前のブロック集会で、じゃんけん列車を行った。年長のさくら組の園児、1・2年生の児童全員で、「なかよくなろう」をめあてに取り組んだ。



○高等ブロック（7年～9年）探究学習

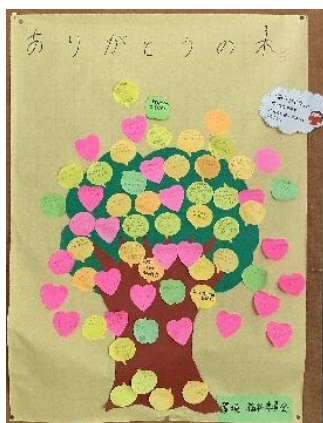
取り組みの概要

- ・国語・数学・社会・理科・英語の5教科の中で、自分が選択した教科の自分達で立てた課題について探究する。7・8・9学年の学年の枠を解いて班をつくり取り組んでいる。



○専門委員会の取り組み

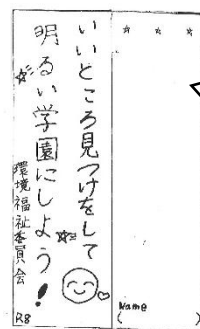
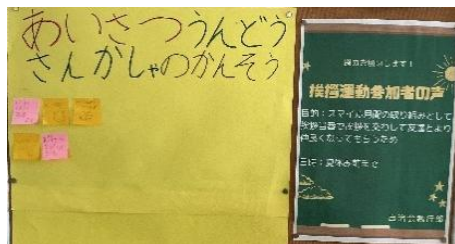
- ・環境福祉委員会・・・「ありがとうの木」の取り組み。(全学園生対象)



うれしかったことや、感謝の気持ちを付箋に書いて伝える取り組み。委員会が呼びかけ、自発的にメッセージを書く学園生が増えた。

- 「すてき見つけしおり」の取り組み。(1～5年対象)

学級で一人一人のよいところを見つけ合い、見つけたよいところを紙に書いてしおりにした。



しおり

ここに、自分のよいところを書いた。

- ・代表委員会・・・「あいさつ運動」あいさつを通して、友達とより仲良くなることを目的として取り組んだ。
- ・広報委員会・・・スマイル月間中、昼の校内放送の際、「いじめ防止」「仲間づくり」の観点から曜日ごとにメッセージの内容を考え、放送を実施した。

スマイル月間 昼の放送原稿【月曜日】

みなさん、こんにちは。(略)スマイル月間は、みんながなかよく、安心してすごせる学校にするための取り組みです。「ありがとう」や「いっしょにあそぼう」の言葉で、みんなの笑顔がふえます。今日は、だれかがうれしくなることを一つしてみましょう。

○縦割り班（なかよし班）清掃活動

取り組みの概要

〈ねらい〉

- ・縦割り班で力を合わせ清掃活動をすることで、異学年交流を深める。
- ・みんなががんばることの楽しさを体感し、お互いに思いやる心を育てる場とする。

〈内容〉

- ・掃除場所を8つのなかよし班に分け掃除を行った。
- ・各班の9年生が、上学年と下学年のバランスや人数を考慮し、班の中での掃除場所の担当者を決めた。
- ・上学年が下学年の手本となって掃除を行う姿や、下学年も一生懸命掃除をする姿が見られた。

